



2022 新年

0~100 歳超までの地域の共生の「結び目」となる

ともだち

発行所 社会福祉法人四恩学園
児童養護施設・乳児院・診療所
るり保育園・乳児保育園・児童館
駅型・乳児保育園・ふれあいの館しおん
地域密着型特別養護老人ホーム
住吉区東地域包括支援センター
honbu@shiongakuen.or.jp
http://www.shiongakuen.or.jp



発行人 中西 裕 発行日 令和 4 年 1 月 17 日 〒558-0011 大阪市住吉区荻田 4-3-9 電話 06-6607-2220 FAX 06-6696-5347 制作 広報委員会



謹賀新年

理事長 中西 裕

新型コロナウイルスが収まり、早く平穏な日々に戻ることを心から願ひ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私たちは0歳から100歳超までの福祉の「直接の担い手」として、気持ちを引き締め心新たに、みなさまともども「ぬくもりのある幸せな社会」の実現のために頑張りたいと思います。どうか変わらぬお力添えをお願いいたします。



絵馬
来年の願いや抱負をお父さん、お母さん、自分で書いて飾りました。
保育園



年賀状

お家の人に「来年頑張ること」気持ちを込めて年賀状を出しました。
児童館



絵馬
来年の願いや抱負をお父さん、お母さん、自分で書いて飾りました。
保育園

0 歳~100 歳超まで地域共生の「結び目」となる

第 25 回 四恩

ふれあいフェスタ

2021 年 11 月 3 日 (祝・文化の日)



あびんCOハウス

イベント

地域創発スペース「あびんCOハウス」を開放し小規模ながらイベントを行いました。

・手形メッセージ
・防災展示
・野菜市
・おでん・かやくご飯
・テイクアウト
・スタンブラリー
・保育園保護者会
・制服リサイクル
・「木育」
木のおもちゃ展示
野菜市は長居周辺で収穫された当地野菜。

イベント終了後は消防署の指導の下、防災訓練。災害時には住民の皆様のお役に立てる施設であるようにテントや段ボールベッドの設置等を体験。

11月3日(祝)第25回ふれあいフェスタ2021を開催いたしました。昨年、コロナの影響で閉ざされたコミュニティを取り戻すきっかけとして「挑戦」をテーマに開催しました。その後の第3波、第5波の影響でその願いは叶うことがありませんでした。

緊急事態宣言が解除され、ようやく社会全体が少しずつ動き始めた機会に住民の居場所「あびんCOハウス」を中心に四恩学園が地域コミュニティの「結び目」としての役割を果たすために小規模ながら企画実行しました。

地域クリーン

キャンペーン



スタンブラリー



「地域住民と共に」来年は更にパワーアップしたフェスタをぞうご期待!



11 住み続けられるまちづくりを
ごちゃまぜ食堂
第4土曜日
100円カレー
17:00~19:00



1 貧困をなくそう
こども食堂
毎週 火曜日
7:30~8:15



地域創発スペース かりんTaハウス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止しています。

- 夜な夜なヨガタイム(毎月第2・4火曜日)18:15~19:45
講師・桶谷 受講料 1回1,500円(初回のみ1,000円)
- 新宮ちぎり絵教室(毎月第3月曜日)13:00~15:00
講師・新宮 受講料 1回1,000円(材料費別)
- プリザーブドフラワー教室 講師 中川美奈子 1回5,000円
- 五・七・五の詩人部屋(俳句)(毎月第4水曜日)13:30~15:00
講師・米岡隆文 受講料 1回800円



地域創発スペース あびんCOハウス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部休止しています。

- 地域講演会シリーズ
- 独居高齢者会食サービス
- ごちゃまぜ食堂(老若)
- 子ども食堂・里親サロン
- らくご会
- 駄菓子屋さん
- 遊びフリースペース



一部休止中





運動あそび もも

当日はディのおいちゃん・おばあちゃんの下、笑顔いっぱいでした。メダルをかけてもらって誇らしげな表情を見せる姿も見られました。保護者の方からは景品や運動あそびの様子のDVDを家庭に1枚ずつ配布出来るようにご協力頂きありがとうございました。



運動あそび きい

今年もコロナ対策の一環として各クラスで行いました。あか組0歳児きい組1歳児は成長過程を考えて高月齢と低月齢に分かれて少し違う内容にしました。もしも組2歳児は忍びに変身しました。子ども達が今できる活動を考えてながら保育を通して楽しんでほしい！気持ちを大切に。

運動あそび

乳児保育園



運動あそび あか



園外行事が初めてのもも組2歳児。芋掘りに行くまでに園外を歩く距離を少しずつ長くしたり、しゃもじを持ち、掘る練習も。当日は張り切った表情で出発！今年は豊作だったお芋の大きさと数に「いっぱい、出てきた！と大興奮。掘ったお芋もカゴにきちんと入れました。帰り道は「今日はお芋持って帰る」と、お友だち同士で話していました。

芋掘り



保育園



るり2乳児 保育園



クリスマス
サンタさんが
やってきた！
りんりんりん
りんりんりん
トナカイさんと一緒にサンタさんが来てくれました。



クリスマス
サンタさんが
やってきた！
りんりんりん
りんりんりん
トナカイさんと一緒にサンタさんが来てくれました。

保育園での遊び

寒い園庭でも子どもたちは、元気に遊んでいます。鉄棒や鬼ごっこ、大縄跳び等です。大縄跳びについては、年長児が「100回飛びたい」等目標を決めて挑戦中。下のクラスの子も達はその年長児の姿を見て真似て楽しく遊んでいます。



「サンタさんだあ〜」とびっくりの子もたちプレゼントにボールをもらい大喜びでした。子どもたちからは、お歌のプレゼントをしました。「サンタさんきたねえ」とずっと大興奮の子もたちでした。



食育
12月20日（月）
お正月に食べるおせち料理・冬至の由来を、クイズ形式で楽しく学びました。
12月22日（水）
レモンのひとつくち体験。収穫したレモンをおお・しろ組が試食しました。



るり保育園

第55回 生活発表会

12月4日（土）

るりホールにて開催

3才児みどり組は生き生きとした普段の保育園での様子を、4才児あお組は、自分で決めた役や楽器で伸び伸びと舞台上に立つ姿を見て頂きました。5歳児しる組は、ダンス・ハンドベル・マジックショー・朗読など、笑いと感動に満ちた発表会になりました。



絵馬

来年の願いや抱負をお父さん、お母さん、自分で書いて飾りました。



デイサービス

住吉大社参拝ツアー

11月18日（木）



秋の遠足として住吉大社参拝ツアーを開催しました。新型コロナウイルスの影響でデイサービスの外出行事は約2年ぶりの開催でしたが、お天気にも恵まれ、利用者、職員、ボランティアの総勢40名での参拝となりました。長引く自粛生活で足腰が弱ってしまったりと参加をためらう方もいらっしゃいましたが、職員、ボランティアの付き添い、見守りのもと、境内の玉砂利を一歩一歩しっかりと踏みしめて参拝されていました。



ちょうど七五三の時期でもあり、可愛らしく着飾った子どもたちの姿に目を細められたり「おめでとう」と声をかける方もいらっしゃいました。散策する人、おみくじを引く人、写真を撮る人、過ごし方はそれぞれでしたが、皆さん口をそろえて「来てよかった」「ありがとう」と言ってくれたさうしい一日となりました。しおんデイサービスではさまざまな活動を通して「自分らしい生活」を支援します。

ふれ愛の館しおん

地域密着型 特別養護老人ホーム

お楽しみのクリスマス会！

現在コロナの影響でなかなか行事、外出と制限されている状況で、少しでも入居者様にお食事を喜んで頂けるよう、各ユニットごとに「クリスマス会」を開催しました。お寿司、マクドナルド、オードブルのお弁当、おやつではクリスマスケーキを用意しました。普段食べられないお食事で皆様とても美味しく召



第2デイサービス 2年ぶりの家族会

スライドショーで 日頃の活動の様子紹介

第2デイサービスでは12月12日（日）に約2年ぶりに家族会を開催いたしました。6家族、8名のご参加をいただきました。参加してくださった皆様に厚く御礼申し上げます。今回の開催に当たっては、コロナ禍により遮断されたネットワーク（人とのつながり）、離れていた関係を再構築することを目的に行いました。



内容は、スライドショーにて日頃のご利用者の活動の様子を観ていただき、世間話から日ごろ抱えている介護の悩みや、職員との介護相談等を行いました。またフロアに来ていただき、普段どのように過ごされているかを観ていただきました。お帰りの際には感謝の言葉もいただき職員一同、より一層「やる気」が湧いてきました。今後とも定期的に家族会を開催していきたいと思います。（管理者 佐藤旭保）



和やかに家族会

寅





地域のひろば

四恩子どもの家



デイ カレンダーでコラボ

第2回月毎のカレンダー作りをコラボ
折り紙や製作を楽しみながら、第2回のお部屋に飾るカレンダーをコラボ作成。
日づけをデイさん、飾りを子供達で作っています。
出来上がったものを持っていくと毎回「素敵〜！かわいい！」と大絶賛され、照れています。



ガラス越しにハンドベル

デイさんと交流
久しぶりの交流で、子どももデイ利用者さんも、嬉しいひと時。
クリスマスソングを手話で歌ったり、いい湯だな体操、ハンドベルの発表をまぶしうに見つめてくださる姿が印象的。一か月近く一生懸命練習した甲斐あって、大成功でした。

学童



しめ縄作り

ワラから作った

今年も「我が家の代表」としてしめ縄作りに挑戦。心を整えながら、まみれながら頑張りました。各施設にもお配りして飾ってもらいました。

四恩子育て支援センター

令和4年1月~3月 プログラム

- お問合せは、06(6607)3311まで。
- ブックスタート**
1月25日(火)・2月15日(火)
3月8日(火)
- 看護師講座〜発熱・嘔吐・スキンケア〜**
1月19日(水)
2月25日(火)
3月26日(水) 2月24日(木)・3月16日(水)
- アロマでリラックス講座**
2月16日(水) 材料費徴収)
- 保健師何でも相談講座**
3月9日(水)

火~土 開館 10:00~15:00 日・月・祝 閉館日

大阪府民の森「なるかわ園地」



親子ふれあいハイキング

秋の気持ちのいいお天気の中、大人も子供も大はしゃぎ。大阪府民の森「なるかわ園地」にうくく登山道へ出かけました。
去年は中止で、久しぶりの親子交流。職員も一緒に参加させて頂き、普段は顔を合わせられない親子も話に花が咲きながら自然に癒され、お弁当タイムやゲームタイムも満喫しました。



僕たちに何が出来るのか

SDGSの授業の一環として、学童との交流をしに来てくれました。
「僕たちに何が出来るのか」一生懸命考え感じようとし、一緒に笑い合っていて楽しんでいた。大人も子供も、みんなで考えたい問題ですね。

大阪府教育センター 附属高等学校生2名

「僕たちに何が出来るのか」

家族介護教室

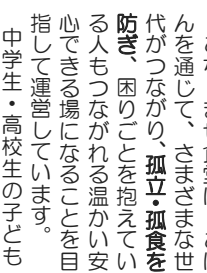
笑いがいっぱい！出張落語会

代表の山田様は住吉区我孫子西1丁目でカルチャーカフェというお店を経営されており、今回の家族介護教室の依頼も快く引き受けて下さいました。
今年もコロナウィルス関連の暗いニュースがたくさんありましたが、出張落語会で笑って頂きました。

「家族の介護に就いてる方、また、日々忙しかれてるご家族様に対して家族介護教室として、12月11日(土)に出張落語会を開催しました。
今回は、グループ「いっせき」の皆様にお越し頂きました。



「ごちゃまぜ食堂は、ごはんを通じて、さまざまな世代がつながり、孤立・孤食を防ぎ、困りごとを抱えている人もつながれる温かい安心できる場になることを目指して運営しています。
中学生・高校生の子どもたちが、参加するだけではなく、ボランティアとして参加してくれるようになれば良いなと思います。どのような形でも良いので、より多くの人たちが



今回の「ごちゃまぜ食堂」は、参加対象者が広がるように、事前にチラシを荻田北住宅とあひんこモーニングの子どもたちに、配付しました。
小学生だけではなく、中学生・高校生の子どもたちやコロナの影響で、活動を控えておられたむつみ会の方も、参加して下さいました。

「ごちゃまぜ食堂」
12月18日(土)
100円カレーを
通じて居場所つくり



「自分の居場所」と感じられるようになることが理想です。

子どもたちに手作りのハンバーガーを提供して下さいました。
「おいしい。いつも楽しみ」と答える小学1年生の女子や、「おいしい」「おかわり！」という子どもたちの声飛び交うように手作りのハンバーガーを食べて喜ぶ姿が多く見られました。

あひんこモーニング
再開しました
12月11日(火)
ハンバーガーショップ・ビッグダイナー様がキッチンカーで来園



小学校5年生の女子が「子ども食堂で一番楽しいのは、友達とみんなでおしゃべりできること」と答えるように、食事への楽しみに限らず、子ども食堂での子どもや職員との交流等について楽しみを見出していることが伺えます。
今回のビッグダイナー様の手作りハンバーガーを食べている子どもたちの様子からまた「子ども食堂に参加する楽しさが増えた」と感じています。



里親支援機関 結い 大道荘1階の取り組み



「100円結び目カレー」のテイクアウト・「駄菓子屋しおん」
11月23日(火) 大道荘1階で「100円結び目カレー」のテイクアウト・駄菓子屋しおんを開催しました。地域の方からも「美味しかったよ」「次が楽しみ」等の声が届くようになつてきたので、しっかりと地域に根付くように今後も開催していきたいです。



今年度は各事業所の部長・課長を対象とした「トップマネジメント研修」と「リスキーマンジメント研修」を開催しています。
職員が安心して働けるよう部長や課長は日々勉強しています。

法人研修

地域講演会シリーズ あひんCO学び舎「ぽっかぽか」

「人も猫も一緒に支援」
猫から目線で動く支援
12月24日(土) 実施
人も猫も一緒に支援プロジェクト
代表 小池英梨子氏

「不登校と引きこもりを考える」
11月27日(土) 実施
NPO法人ろーたす 松下氏
フリースクール、訪問支援、学習アセスメント、カウンセリングを実施している松下氏。不登校支援に「プロ」や「専門家」は存在しない。みんなで支援しよう。

予告
ゆめ伴(とも)プロジェクト
in 門真

1月、認知症になって輝けるまちをめざして、認知症の人や高齢者が地域社会で輝ける場や活動を創出するプロジェクトに取り組んでいます。
森安美氏をお招きします。
ゆめ伴(とも)プロジェクト in 門真という認知症の人と市民や介護・福祉の団体や行政が共に楽しむことで認知症になっても輝けるまちづくりについてお話していただきます。

主催・社会福祉法人四恩学園ミックスモダン焼の会